

令和 7 年度金沢市水道水源保全審議会 会議要旨

■日 時 令和 7 年 11 月 21 日（金） 午後 2 時 00 分から午後 3 時 00 分まで

■場 所 末浄水場 管理本館 1 階 見学室

■出席者 別紙のとおり

■内 容 以下のとおり

事務局	ただいまから「令和 7 年度金沢市水道水源保全審議会」を開催する。
公営企業管理者	挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から委員を紹介 （山崎委員、山名委員は欠席。山名委員代理として吉村担当課長が出席） ・委員の互選により原委員を会長に選任 ・会長が中野委員を会長代理に指名
会長	挨拶
事務局	これより議事に移るが、金沢市における水道水源の保全に関する条例施行規程第 6 条第 1 項の規定に基づき、ここからの議事進行は原会長にお願いする。
会長	<p>本日の議題は 2 件。なお、議事については公開で進める。</p> <p>それでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題の 1「令和 7 年度 水道水源保全活動報告」、議題の 2「令和 8 年度の水道水源保全活動について」を、併せて事務局から説明をお願いする。
事務局	<p>（令和 7 年度 水道水源保全活動報告（資料）に基づき説明）</p> <p>（令和 8 年度 水道水源保全活動について（資料）に基づき説明）</p>
会長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお願いします。
委員	審議会の主要なテーマは水質という質に関してであるが、近年の降雨パターンを鑑みると、水源の量の問題があると考えるが、ここに問題はないのか。

事務局	<p>水源であるダムの貯水量に関して、今年の例でいえば、6月下旬から7月に降雨がほとんどない時期があり、ダムの水位は下がった。貯水量の確保について、ダムの管理をしている石川県と定期的な協議も含め、調整をしている。</p>
委員	<p>合同パトロールの際に、所員をボートに乗せてもらい、あまり見ることがない場所から犀川ダムを見ることができた。</p> <p>水道水源という意味での国有林が非常に重要な役割を果たしていること、これからも適切な管理をしていくことが重要であることを再認識した。</p> <p>合同パトロールのような取組を通じて、皆様と連携して、水源保全区域の保護活動に関して意見交換ができればよい。</p>
委員	<p>水質水源の監視強化に関して、取水口から浄水場までの送水区間は完全に密閉された形になっているのか、又は、流れ込む可能性のあるような形になっているのか。</p>
事務局	<p>ダムから浄水場までのルートはパイプや開口された用水から引き込んでいるため、雨水などが入り込む状況にあるが、原水の検査は浄水場に届いた時点でも採水して検査を行っている。</p>
委員	<p>水道水源涵養地の除草について、地元の保存会等の方々に依頼をしているが、高齢化もあるので、今後の継続性を鑑みた場合、どのような関わり方をしているのか。対価を支払っているのか。</p>
事務局	<p>除草については、地元の保存会等の皆様にご協力をいただいているが、作業の対価として費用をお支払いしている。</p> <p>現時点では、高齢化により、もうできないという話は聞いていないので今後も引き続き協力していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>新しいイベントを考えているとのことだが、もっと広がりを持った形で市民が関わっていけるイベントもよいのではないか。</p>
事務局	<p>例えば、山手でのイベントとなると、熊等の課題がある。イベントは、末浄水場を会場として毎年行っており、6月の水道フェスタとは異なる時期で末浄水場を主会場としてできないかを検討したい。</p>
委員	<p>パトロールの際に熊や鹿の痕跡を見ることはあるのか。</p>
事務局	<p>道路上に糞があったという報告は聞いている。ただし、目撃したとか鉢合わせしたということはこれまではない。</p>

委員	<p>パトロールの安全は第一である。</p> <p>石川県は他県と比較して熊の被害が少ないとの話がある。これは、石川県内のナラ類が豊作で餌が不足することがないためとのことである。</p> <p>水源涵養林にどんぐり類等が十分あれば、街中の被害を防ぐ要素になることから、森林の保全が重要である。</p> <p>鹿の増加による森林被害は、熊の餌不足になり、熊が市街地に出てきてしまうことにつながることを考えると、植物だけではなく動物に関することにも気を配る必要がある。</p> <p>鹿が食害する量は非常に多く、鹿の増加により森林が衰退してしまう。</p>
事務局	<p>これまでの審議会でもいただいた意見の中で、植える木の種類等をうかがっており、そういったものを補植している。</p> <p>パトロールの際は、常に熊鈴、ラジオ、熊除けスプレーを携帯しており、事前に目撃情報があれば、その日のパトロールは中止するという対応を取っている。</p>
委員	<p>パトロールの他に、人の出入り、不法投棄、不審な車の出入りをモニターできるようなカメラのある場所は現在あるのか。</p>
事務局	<p>現在、保全区域においてカメラによる監視は行っていない。</p>
委員	<p>必ずここは通るという場所、要所であれば、少ない人員で監視していることもあり、モニタリングするのも1つの方法かと思うが、初期費用もかかるため、コメントにとどめる。</p> <p>採水のタイミングと分析の費用の負担についてはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>水道法に基づき行っており、水道事業の中で負担している。</p>
委員	<p>PFASの水質検査は、年4回、他の項目と一緒に決まったタイミングで行うのか。</p>
事務局	<p>3か月に1回以上という法定のルールになっており、我々としては、他の項目と一緒にタイミングで年4回検査をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>不審な人や車、野生動物の管理のためには、センサーカメラがあるとよい。</p>
事務局	<p>どういうことができるか研究をしていきたい。</p>

委員	<p>森林管理署はセンサーカメラも多く設置しており、隣県から石川県に入ってくる鹿は増加している。森の中に食べ物がないことが原因の１つかと思われる。</p> <p>森林管理署所員は熊鈴や熊除けスプレーの携行は必須なので、安全対策は必要と考える。</p>
委員	<p>一般的に熊との関係は知見がないが、鹿は下層の植生を全て食べ尽くし、それが元で表層が流れ、木の根も弱って山崩れを起こす。鹿の食害を起因とする災害が起きていたりする。鹿の増加は当初予想されたほどのスピードではないが、将来的には水源管理に影響が出てくることも考えられる。</p>
委員	<p>獣害ではないが、ナラの被害がまた少し広がってきていると聞いている。この点に関して、パトロールの際に、病原菌をもつことも考えられる赤い木があった場合には、森林関係者に伝えて欲しい。</p>
委員	<p>今年は山の木が非常に多く枯れているが、どうしてか。大きな木が枯れているため、心配である。</p>
委員	<p>はっきりした知見ではないが、１０年に１回ぐらい波があり、現実的には、波が過ぎれば元に戻るが、１０年後にはなぜか同じように枯れてしまう。</p>
委員	<p>動物のセンサーカメラに関して詳しい先生が県立大学にいたので相談されたらよい。</p>
事務局	<p>パトロール活動の中で気づき等があれば、そういった専門家に相談させていただく。</p>
会長	<p>以上で本日の議事を終了する。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しする。</p>
企業局次長	<p>挨拶</p>
事務局	<p>以上で、令和７年度金沢市水道水源保全審議会を終了する。</p>

(別 紙)

令和7年度金沢市水道水源保全審議会出席者（順不同、敬称略）

会長 原 宏江 （金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 准教授）
飛鳥井 幸彦 （林野庁近畿中国森林管理局石川森林管理署 署長）
小坂 隆 （寺津町会長）
砂山 亜紀子 （もりラバー林業女子会@石川 代表）
中野 真理子 （石川県立自然史資料館 副館長）
吉村 源太郎 （石川県農林水産部森林管理課 担当課長）※
※山名 佑樹委員（石川県農林水産部森林管理課長）の代理

事務局

松田 滋人 （金沢市公営企業管理者）
中村 徹 （金沢市企業局 次長）
口田 直彦 （金沢市企業局上水課 課長）
米田 友行 （金沢市農林水産局森林再生課 主査）
山田 貴弘 （金沢市企業局上水課 課長補佐）
西島 正春 （金沢市企業局上水課 課長補佐）
加藤 祐介 （金沢市企業局上水課 企画庶務係長）
澤田 英一 （金沢市企業局上水課 浄水管理係長）
池田 雅人 （金沢市企業局上水課 主査）
松岡 俊史 （金沢市企業局上水課 主査）